

(2) 現代的・地域的教育課題に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目		必修選択の別	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容	備 考
	科目番号	科 目 名							
教科又は教職に関する科目	教共208	特別支援教育の理論と実践	必	2	2-0	1-2	前・後	特別支援教育の基礎理論と発達障害児の指導のあり方を考える	
	英教388	小学校外国語活動 I	選	2	2-0	3-4	前	外国語活動及び教科外国語を担当する際に必要となる基本的な指導法や指導技術について学ぶ	
	技181	ものづくり概論	選	2	2-0	2-3	前	普通教育におけるものづくり教育の役割とその理論的背景、具体的な授業実践例等を紹介するとともに、製作活動を通して、ものづくり活動の教育的有用性を検証していく	
	教共215	離島・へき地教育概論	選	2	2-0	2-4	前	離島・へき地の学校教育の現状と課題を概観する	
	教共209	総合的学習概論	選	2	2-0	2-4	後	総合的学習の理念と歴史、総合的な学習をめぐる方法的問題、総合的学習の目標・内容・方法、および授業構成について概説する	
	教共108	現代社会の諸問題と芸術	選	2	2-0	1-4	後	女性問題、基地問題、人権問題、地球環境問題等現代社会の諸問題に取り組み現代芸術の実践例を踏まえながら、社会状況の調査等をおして現代における芸術及び芸術教育の課題を設定し考察する実践的な演習を行う	
	教共113	新聞活用実践講座	選	2	2-0	1-4	前	学校教育現場に新聞を活用するNIEの取り組みや新聞の特長、役割を学び、情報活用能力を養う。併せて、ワークショップ形式で、子どもたちの言語活動の充実や思考力、判断力、表現力等を培う新聞の可能性や活用法を学ぶ	
	教共110	子ども文化とコミュニケーション	選	2	2-0	1-3	前	音楽・演劇の基礎行動にあるパフォーマンスを中心として、子どもの遊びと表現行動をワークショップ形式で演習する。あわせて、多様な人間行動の観察を通してコミュニケーション・スキルを高め、コミュニケーションにおける問題を考察する	
	教共216	子どもと多言語・多文化教育	選	2	2-0	2-3	前	学校教育における外国人および日本語を母語としない児童生徒の現状と課題、その指導方法について概観する	
	教共120	環境科学概論	選	2	2-0	1-4	後	身近な自然環境について、科学的視点から概説する。	
	教共121	琉球・沖縄史を学びあう	選	2	2-0	1-4	前	琉球・沖縄史を巡る諸問題について学びあう。	社会科教育専修は必修
	教共122	平和教育学概論	選	2	2-0	1-4	後	沖縄戦、軍事基地を巡る諸問題について概観し、平和教育の目標・方法について考察する。	
	教共123	沖縄の環境と社会	選	2	2-0	1-4	後	沖縄の環境問題と沖縄社会との関連について、哲学、社会学、政治学、地理学等の視角から考察する方法を学ぶ。	
	教共119	沖縄生活文化論	選	2	2-0	1-4	後	沖縄の生活文化について、衣・食生活を中心にその現状を踏まえながら、生活課題について考察する	
教共124	沖縄社会の現在と子ども	選	2	2-0	1-4	前又は後	世帯編成パターンの特質や家計所得の格差などと関連づけながら、沖縄県にお		

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目		必修 選択 の別	単 位 数	週時間	受講 年次	学期	授 業 内 容	備 考
	科目番号	科 目 名							
教科又は教職に関する科目	教共180	インクルーシブ教育指導法Ⅰ	自	2	0-2	1	通年	通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒(肢体不自由者)の指導法に関する講義	特別支援以外の学生対象
	教共280	インクルーシブ教育指導法Ⅱ	自	2	0-2	2	通年	通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒(病弱者)の指導法に関する講義	特別支援以外の学生対象 Iを履修済であること。
	教共380	インクルーシブ教育指導法Ⅲ	自	2	0-2	3	通年	通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒(知的障害者)の指導法に関する講義	特別支援以外の学生対象 I・IIを履修済であること。
	教共117	障がい者の教育実践と地域発達支援Ⅰ	自	2	0-2	1-4	前	附属センターのトータル支援教室において地域の障がい児と関わったり、地域の小学校、中学校、幼稚園の特別支援学級や特別支援学校等での教育実践や子どもたちへの地域発達支援活動に参加することで障害児の理解と実践力を高める。	
	教共118	障がい者の教育実践と地域発達支援Ⅱ	自	2	0-2	1-4	後	附属センターのトータル支援教室において地域の障がい児と関わったり、地域の小学校、中学校、幼稚園の特別支援学級や特別支援学校等での教育実践や子どもたちへの地域発達支援活動に参加することで障害児の理解と実践力を高める。	